

研究分野		授業科目名				科目責任者	
生理系分野		周術期管理・侵襲防御医学特論Ⅰ・Ⅲ				中塚 秀輝 (兼)	
開講年次		共通/専攻/選択		単位数			
1,2,3,4		特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択		特論Ⅰ：4 (2/年) , 特論Ⅲ：1/年			
目的							
(1) 呼吸不全の病態生理と人工呼吸器による維持管理方法を理解する。 (2) 腎臓機能不全の病態生理と人工臓器による維持管理方法を理解する。 (3) 腎臓機能不全の最新の検査方法を理解する。							
授業到達目標							
(1) ICU内の呼吸不全患者の生理的異常点を指摘できる。改善のための方策を提案できる。 (2) ICU内の腎臓機能不全患者の重症度評価ができる。その対策が提案できる。人工臓器の原理が説明できる。 (3) 既存の腎臓機能検査法について説明できる。現在利用できるバイオマーカーの説明ができる。 (4) 世界で行われている先進的評価法の説明ができる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容
1	毎月2回	不定期	8:10-8:30	大橋 一郎 林 真雄	講義	[症例検討会]	循環不全・呼吸不全の病態理解と治療 [場所:総合医療センター]
2	毎月2回	不定期	8:10-8:30	大橋 一郎 日根野谷 一	講義	[症例検討会]	肝不全・腎不全の病態理解と治療 [場所:総合医療センター]
3	毎月	第2水	17:30-19:00	大橋 一郎 日根野谷 一	講義	[抄読会]	臓器不全の新しい治療に関わる文献を輪番で読んでディスカッションを行う。 [場所:総合医療センター]
4	毎月	第3水	17:30-19:00	大橋 一郎 日根野谷 一	講義	[研究検討会]	研究のPDCAサイクルカンファレンス [場所:総合医療センター]
評価方法							
【特論Ⅰ】 (1) 1年間※で、講義は30時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 【特論Ⅲ】 (1) 1年間※で、講義は15時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文(症例)であること。 特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。 ※1～3年生は2月末まで、4年生は11月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。42・43頁：単位履修方法参照。							
課題(レポート等)に対するフィードバック							
レポートをもとに指導教員と大学院生がディスカッションを行い、双方の十分な理解に基づいたレポート内容の改善を行う。							
教科書							
ISBN-9784883788903, 集中治療専門医テキスト(第2版), 日本集中治療医学会, 総合医学者, 2015							
参考書							
ISBN-9780323376389, Textbook of critical care, editors, Jean-Louis Vincent ... [et al.], Elsevier, 2017							
準備学習(予習・復習等)							
(1) それぞれの講義で提出されるテーマを自己学習で理解する。 (2) 文献には必ず目を通す。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
臨床から生じる純粋な疑問に対して、適切な仮説を創出し、適切な検証を行うための科学的的方法論の修得と考察を行う。							
注意事項・メッセージ							
自身の研究課題につながる論文をもれなくピックアップできるように注意深く、定期的な検索を欠かさないこと。							